

社会福祉法人東京愛成会 あつふる保育園鶴ヶ峰

福祉サービス第三者評価結果報告書



報告日 平成24年3月29日

福祉サービス第三者評価機関
株式会社コモンズ21研究所

福祉サービス第三者評価結果報告書

目 次

1. かながわ福祉サービス第三者評価推進機構	
福祉サービス第三者評価結果報告書	1
2. 福祉サービス第三者評価結果報告書	
① 評価結果総括表	9
② 分類毎の評価結果	11
③ 利用者家族アンケート結果の特徴	30
④ 利用者家族アンケートの調査結果	30
⑤ 利用者本人調査結果の特徴	34
⑥ 事業者からの意見	35
3. 当社オリジナル報告書	
① 家族アンケート 各データグラフ (非公表)	36
② 家族アンケート施設への要望 (非公表)	41
③ 評価結果集計表 (非公表)	46
④ 自己評価／第三者評価 比較票 (非公表)	47～71

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表

事業所名	社会福祉法人 東京愛成会 あっふる保育園鶴ヶ峰
報告書作成日	平成24年3月29日 (評価に要した期間6か月)
評価機関	コモンズ21研究所

評価方法

自己評価方法 (実施期間: 平成23年9月1日～11月10日)	職員一人一人が評価したものを、園長が取りまとめた
評価調査員による評価方法 (実施日: 平成23年12月12日、12月14日)	ヒアリング対象者...園長・主任・保育士・看護師 施設観察... 12月12日、12月14日 書類審査等... 12月12日、12月14日
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間: 平成23年9月12日～9月26日)	保育園より保護者へ配布。直接調査機関へ郵送にて回収。
利用者本人調査方法 (実施日: 平成23年12月12日、12月14日)	調査対象者... 本人調査 (4・5歳児...6名) 観察 (0歳児～5歳児)

評価結果についての講評

<p><園の概要・特徴> 平成17年、社会福祉法人弘前愛成園の保育園として開所し、平成23年1月、新設された社会福祉法人東京愛成会に運営が移行されました。現在、新法人下で、運営全体の見直しが進められています。 相模鉄道線、鶴ヶ峰駅南口から直接歩道橋で繋がる、商業施設ココロット鶴ヶ峰の3階を園舎とし、沿線各駅の周辺住民の利用があります。 7時から21時までの保育、また生後57日からの産休明け保育を実施しています。 整った施設環境の中、0歳児から5歳児まで、本園120名、分園60名(各定員)の明るく元気な子どもたちが育まれています。 緊急保育、非定形保育、リフレッシュ保育などの一時保育を実施し、多くの利用者があります。 分園は鶴ヶ峰駅北口側、本園から徒歩5分の住宅地域にあり、また東京都大田区の姉妹園「あっふる池上保育園」との職員や子どもたちの交流もあります。</p> <p>1. 多彩な体験を通しての発達援助</p> <p>①「体育指導」「音楽遊び」「科学遊び」など、外部講師を招いての、年齢に応じた特別活動を行っています。特別活動の成果は、運動会や生活発表会で保護者や他のクラスの園児たちにも披露され、子どもたちの自信へと繋がっています。 ②園内での飼育や栽培の活動とともに、毎年イチゴ狩りや、近隣の畑で自分たちが植えたサツマイモの芋掘りが行われています。掘ったサツマイモは、食育活動の一環として、自分たちで調理して食べる「クッキング」の活動に繋がっています。 ③異年齢の子どもでグループを作り行われる幼児クラスでの異年齢合同保育、姉妹園との「ドジョウのすくい捕り」や、近隣保育園との「泥んこ遊び」などの合同保育、また近隣地域ケアプラザを訪問しての高齢者との交流活動など、子ども達の視野を広げ社会性を育てる取り組みが行われています。</p> <p>2. 保護者の声に耳を傾ける姿勢</p> <p>日常の保護者との会話を大事にするとともに、懇談会や行事終了後に行われる頻繁なアンケート調査、「声のはこ」への投書、また園長への手紙でも、保護者からの意見・要望の聞き取りを行い、アンケートの集計結果や、要望・意見への回答は文書で全保護者に伝えています。 保護者の投書から、園内でプロジェクトチームを立ち上げ、中断していた「お泊り保育」を再開するなど、保護者の声に耳を傾ける姿勢があります。</p>
--

3. ひとり一人の子どもの体調への配慮

担任による健康観察と共に、日に2回、看護師が全クラスを回って視診を行い、子ども達ひとり一人の、日々の体調への細やかな目配りがされています。

園で使用する、虫除けや湿布、傷薬、絆創膏などについて各保護者からの使用承諾をとり、検診記録や予防接種の状況、既往症の一覧などともに、看護師が管理し、手当ての際などに確認しています。また、アレルギーを持つ子どもの一覧表や熱性けいれん対応の個別フローチャートを作成し、事務室や保育室に保管し、緊急時に備えています。

本調査、利用者家族アンケートでも、「お子さんの体調への気配り」への評価は高く、また「アレルギーを持つ・障害のあるお子さんへの配慮」についても保護者から評価の声が多く聞かれました。

<改善を期待したい点>

1. 人材育成の仕組みづくりを

アレルギー疾患・虐待対応・障害児保育などについて、全職員が最新の知識や支援技術を学ぶための仕組みや、非常勤職員を含む全職員によるマニュアル共有のための仕組み作りが望まれます。

また個々の職員の資質向上を図り、理念や方針を踏まえた園の保育の実践のためにも、人材育成計画を策定し、計画的な育成を行うことが期待されます。

2. 積極的な地域との関わりを

園への理解促進や外部からの視線を園の運営に活かすため、ボランティアなどの受け入れ体制の整備や、地域の団体などとの交流、施設開放など、積極的な地域との関係作りが望まれます。

また、園の専門性を活かした子育て情報発信など、地域への更なる貢献に期待します。

評価機関による評価




3つ:高い水準にある、2つ:一定の水準にある、1つ:改善すべき点がある

評価領域 I 利用者本人(子ども本人)の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> 	<p>法人理念「愛・行動・感謝」に基づき、「明るく、元気で、素直な子」の保育目標、子ども達が安全に、また安心して笑顔いっぱい過ごせることや、保護者の話に耳を傾けることなど、利用者本人を尊重した基本方針を掲げ、穏やかな保育や、保護者からの要望への丁寧な対応など、保育方針に沿ったサービスを提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育課程に基づき、年齢ごとの年間・月間・週間の指導計画を作成しています。 ・子どもに対する、職員の言葉遣いや対応は穏やかです。 年齢に応じて、例をあげたり、保育士自身がやってみせたり、クイズ形式にしたり、またゆっくりとした説明をするなどで、子どもの理解や納得を図っています。 クラスの約束事を、子どもたちと保育士が話し合っ決めて決めることで、子どもたちが自主的に約束事を守るようになるなどの成果を得ています。 ・職員は注意深く子ども達の観察を行い、意思の汲み取りや確認をしています。職員は、子どもの思いを受け止め、共感することを各指導計画でも繰り返し「配慮点」とし、子どもの気持ちを尊重した保育が行われています。本年度は、特別活動の音楽指導での子どもの声に応え、必要な楽器を購入し、発表会での曲の発表にむけて練習を始めました。内部研修でも、子どもの自主性や主体性を尊重した保育を確認し、園全体の共通認識としています。 ・定期的に、また入職時に、職員への基本方針確認の機会を設けることが望まれます。 ・全職員による、保育課程の見直し、作成が望まれます。 ・園の生活での子ども達の発達と、その援助の見通しを示す保育課程を、入園時などに保護者に知らせることが望まれます。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="183 376 630 436">I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="678 376 1412 616">•園長や主任などによる入園前面接を行い、保護者から家庭や子どもの状況を聴き取り、子どもの観察を行っています。入園前面接は「入園時間聞き取り表」として記録を残し、入園時には保護者から既往症や癖、要望などを記載したアンケートの提出を受けています。園時間聞き取り表やアンケートはファイルして事務所に保管し、指導計画の作成の参考にし、また必要に応じて確認して日々の保育に活かします。 また、新入園児の観察を注意深く行い、「入所1ヶ月以内の子どもの姿」を記録して保育に活かしています。 <li data-bbox="678 649 1412 795">•短縮保育は、2週間程度を予定し、パンフレットや入園説明会で必要性などを説明していますが、保護者の都合や要望に合わせた延長や短縮を行います。0、1歳児の新入園児については、1ヶ月間ほどは個別に主任担任保育士を決め、オムツ換えや授乳などを出来るだけ主任担任保育士が援助します。個別指導計画も主任担任保育士が作成します。 <li data-bbox="678 828 1412 918">•送迎時の保護者との会話で、日々の子どもの様子を伝え合っています。乳児については、連絡ノートの記載でも保護者との連携を図っています。入園時には特に密に連絡を取り合います。 <li data-bbox="678 952 1412 1041">•各指導計画書中に振り返りの欄を設け、クラス担任が期終了後に計画の評価見直しを行い、主任や園長のアドバイスを受け、次期の計画作成に繋がっています。 <li data-bbox="678 1075 1412 1164">•連絡帳や、送迎時の会話、個人面談などで保護者の意向を聞き、指導計画に反映しています。トイレトレーニングなどでは、特に保護者との連携を意識し、聞き取りを行っています。 <li data-bbox="678 1198 1412 1265">•進級時には、子ども達の不安や保育の継続性に配慮して、担任の一人は必ず次年度も同じ子ども達の担任に配置しています。 <li data-bbox="678 1299 1412 1321">•各クラスの指導計画の、全職員による評価検討が望まれます。 <li data-bbox="678 1355 1412 1422">•子どもの新しい生活への不安に配慮して、心理的拠り所とするものを持ち込みを認めることが期待されます。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="178 374 497 403">I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="667 374 1417 434">•保育士による各保育室内、用務員によるトイレやホール・廊下などの清掃が行われ、施設内の清潔が保たれています。 <li data-bbox="667 465 1417 618">•園全体に床暖房が施され、建物全体の集中管理による換気が行われ、保育室を空ける際には、窓を少し開けての換気も行っています。保育室内には加湿器が置かれ、冬季で室温 17～23℃、湿度 40%以上を目安にしています。各保育室とも大きな窓から陽光が充分に入り、必要に応じてカーテンなどで遮光をしています。 <li data-bbox="667 649 1417 710">•0 歳児保育室に沐浴設備、乳児保育室や園庭に温水シャワー設備があり、排便後や汗をかいた際、泥汚れの際などに使用します。 <li data-bbox="667 741 1417 860">•乳児クラスでは、保育室内を敷物やブロック状の大きなクッションで区切り、小集団での保育に配慮しています。幼児クラスでは、子どもたちの遊びの様子に応じて、パーティションで室内を区切り、それぞれの遊びの場を確保します。 <li data-bbox="667 891 1417 981">•乳児クラスでは、各保育室を食事部分と午睡部分に分けて使用し、幼児クラスでは、食事は各保育室ごと、午睡はホールを幼児クラス合同で使用します。 <li data-bbox="667 1012 1417 1072">•雨の日の遊びなどでは、異年齢児合同でホールを使用し、広い廊下での異年齢の交流もあります。 <li data-bbox="667 1104 1417 1133">•チェックリスト使用などによる、湿温度管理が行われるとさらによいでしょう。 <li data-bbox="667 1164 1417 1254">•用務員による清掃箇所についてはチェックリストによる清掃確認が行われていますが、保育室についても、手洗い場など、場所ごとの清掃確認が行われるとさらに良いでしょう。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="177 360 659 421">I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="671 360 1415 421">・ 0～2 歳児について個別指導計画を作成しています。課題があると思われる幼児についても、個別支援計画を作成しています。 <li data-bbox="671 454 1415 607">・ 乳児や課題がある子どもについては個別の日誌を作成し、日々様子を観察し、必要があれば柔軟に計画を見直します。離乳食やトイレトレーニングなど、連携が必要なことについては、保護者と意見交換し計画を作成します。課題がある子どもの指導計画については、保護者や関係機関とも連携して作成、見直しを行います。 <li data-bbox="671 640 1415 759">・ 保護者からの要望が記載された、入園時間き取り票や面談記録は、「新入園児保健調査票」としてファイルされています。既往症や家庭の状況、入園後の発達を記録した、個々の子どもの「保育児童票」「保育経過記録」など帳票類が整備され、クラスごとにファイルされています。 <li data-bbox="671 792 1415 972">・ 園で使用する、虫除けや湿布、傷薬、絆創膏などについて各保護者からの使用承諾をとっています。使用承諾書は、全園児の検診記録や予防接種の状況、既往症の一覧などともに、「健康に関する記録」として、看護師が管理しています。保護者からの情報をもとに、アレルギーを持つ子どもの一覧表や、熱性けいれん対応の個別フローチャートを作成し、事務室や保育室に保管し、緊急時に備えています。 <li data-bbox="671 1005 1415 1102">・ 記録類は事務所内に保管され、職員は必要に応じて確認し、保育に活かしています。進級時には、これらの記録とともに、引継ぎ表が作成されて担任間の引継ぎが行われます。 <li data-bbox="671 1135 1415 1160">・ 保育所児童保育要録を就学する小学校に送付しています。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="177 371 646 432">I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="667 371 1423 432">・関係機関からの要請による、担当保育者1名、担当看護師 2 名を配置してなどの、障害を持つ子どもの受け入れがあります。 <li data-bbox="667 465 1423 526">・毎月開かれる「未満児会議」「以上児会議」で配慮を要する子どもについて話し合い、職員会議でも報告し記録しています。 <li data-bbox="667 560 1423 645">・個別支援計画、日誌、ケースカンファレンスの記録など、特に配慮を要する子どもについての記録は、個別に一括してファイルし、保育に活かしています。 <li data-bbox="667 678 1423 831">・園内に段差は無く、玄関付近は緩やかなスロープになっています。障害を持つ子どもについては関係機関とも連携し、障害の特性を考慮しての個別支援計画を立てています。保護者の了承を得、関係機関から保育上のアドバイスを受け、また必要に応じて関係機関、保護者を交えてのケースカンファレンスを行っています。 <li data-bbox="667 864 1423 1016">・過去に、児童相談所からの要請での園児受け入れたこともあり、児童相談所との日常的な連携があり、虐待が明白な場合、また疑われる場合の通告・相談の体制があります。支援が必要と思われる保護者や子どもの様子を観察し、注意深く話を聞き、必要に応じて関係機関を案内するなどの支援が行われています。 <li data-bbox="667 1050 1423 1323">・アレルギーを持つ子どもについては、医師の指示書の提出を受け、代替食や除去食を提供しています。入園前の面接で、保護者から個々の子どものアレルギーについての情報を得、月末に次月のアレルギー対応食の献立を配布し確認をとるなど、保護者と連携して保育にあたっています。アレルギー対応食はシールしたラップに子どもの名前を貼り、除去食品名を書いたトレイに載せて調理室から運ばれ、受け渡しの際には担任と給食担当者が確認を行っています。保護者からの要請で、アレルギーのある子どもの受診に同行し、担任保育士と主任が医師の助言を聞き、給食提供など保育の参考にしています。 <li data-bbox="667 1357 1423 1509">・文化や生活習慣の違いからの対応困難ケースは現在までありませんが、それぞれの文化を受け入れる考えはあります。言葉が通じにくいケースでは、区の担当者と連携し、またアルファベットを使っての連絡ノート記載などの対応をします。世界地図や国旗を使って、子どもたちに多くの国、文化、風習がある事を伝え、地図や国旗を保育室内に掲示しています。 <li data-bbox="667 1543 1423 1659">・職員は在園する子どものアレルギーや障害などについての、個々の状況については把握していますが、アレルギー、虐待、障害などについて、研修や講演会受講、学習会の実施など、全職員が最新の知識や情報、支援技術を学ぶための仕組み作りが望まれます。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="178 376 405 403">I-6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="683 376 1417 495">•園のパフレット中に「園の苦情受付・相談体制」を掲載し、また園玄関に「苦情解決処理について」を掲示して、受付や解決の責任者担当者名や、第三者委員名・連絡先、また話し合いの立会い、助言を行う旨を伝えています。 <li data-bbox="683 528 1417 712">•保護者の意見要望を、懇談会や各行事終了後のアンケート、「声のはこ」への投書などで聞きとり、また園長宛の手紙でも受けています。アンケートなどで寄せられた意見要望の内容は、必要に応じて保護者への「お知らせ」で回答とともに伝えています。平成22年度に「声のはこ」に寄せられた保護者の要望から、一時期中断していた「お泊り保育」を再開しました。 <li data-bbox="683 745 1417 801">•職員は子ども達の表情や態度を注意深く観察し、また声かけをし、言葉にできない子どもたちの気持ち、要望の汲み取りを図っています。 <li data-bbox="683 835 1417 925">•保護者からの苦情要望は、職員会議で話し合い、また「苦情受付簿」「苦情話し合い解決記録簿」に記録して職員に周知され、整理、蓄積しています。 <li data-bbox="683 958 1417 1048">•事務所前カウンターに「横浜市福祉調整委員会」のパフレットを置き、外部の苦情相談窓口を紹介していますが、さらに保護者への積極的な案内があるとよいでしょう。 <li data-bbox="683 1081 1417 1171">•第三者委員は行事の際に来園し、保護者に紹介されますが、解決困難事例の際には区に相談し、第三者委員とともに苦情に対応したケースはありません。第三者委員の意見の積極的な活用があるとさらによいでしょう。 <li data-bbox="683 1205 1417 1261">•旧法人作成の、要望苦情を受け、対応するための注意点などを明記したマニュアルがありますが、職員への周知がされるとさらによいでしょう。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅱ-1 保育内容〔遊び〕</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・クレヨンや紙などの用具類は、年齢に応じ自分で取り出せるように配置し、また年齢に合わせた多種のブロック類を用意し、自由な表現活動や主体性の発達を促しています。乳児では発達に合わせておもちゃを入れ替えています。「おおかみと七匹のこやぎ」の読み聞かせから、子ども達の間で、子やぎやおおかみになってのごっこ遊びが繰り返されるのを見て、保育士は生活発表会でのオペレッタ「オオカミと10びきのこやぎ」へと発展させました。ドジョウやクワガタ、カブトムシなどの飼育や、園庭のプランターでマイクロマトの栽培をしています。水やり等の世話をして成長を観察し、収穫後には絵に描き、調理してもらい食べるなど、食育にも繋げています。分園では、園庭の花壇で季節の野菜を栽培しています。 ・子ども同士のけんかの場面では保育士は「もう一度言ってみたら」と励ます声かけをしながら、危険がない限り自分たちで解決するように見守ります。乳児クラスではその日の子どもの様子を把握し、かみつき等が起きないようにさりげなく見守っています。 ・月2回、3～5歳児の合同保育、「なかよしの日」を設け、異年齢児の交流を図っています。自由遊びの時間にも、異年齢児と一緒にブロックで大きな家を作ったり、手遊びをしたりしている様子がみられました。 ・「体育指導」、「音楽遊び」、「科学遊び」など、外部講師を招いての年齢に応じた特別活動を行っています。体育指導では、一人ひとりの発達段階に応じて保育士が片手を添えたり、両手で体を支えたりと補助方法を変えています。特別活動の成果を活かし、運動会では5歳児が組体操を行い、生活発表会では、楽器の演奏などを行います。 ・5歳児の近隣保育園との合同での「泥んこ遊び」や、姉妹園に出かけての「ドジョウのすくい捕り」、鶴ヶ峰地域ケアプラザを訪問しての高齢者との交流など、様々な交流活動を行っています。 ・天気がよい日には近隣の公園に戸外遊びに出かけます。幼児クラスでは木登りやかかけっこ、鬼ごっこ、縄跳び、ボール遊び等体を動かす集団遊びを多く取り入れています。分園では、園庭や園前の公園が毎日の遊びの場になっています。体調不良の子どもは園に残り、保育士とともにゆっくりと過ごします。 ・多様な表現活動ができるよう、廃材など様々な素材類が用意されることを期待します。 ・乳児クラスでは、天気がよければほぼ毎日、散歩に出かけていますが、幼児クラスでは、散歩は週1回ほどになっています。本調査、保護者アンケートでは、幼児クラスでの戸外遊びが少ないとの意見が多く見られます。幼児クラスでもさらに積極的に戸外遊びの時間を設けると良いでしょう。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p data-bbox="178 362 446 392">II-1 保育内容[生活]</p> <div data-bbox="247 454 609 560" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="668 362 1414 421">・乳児クラスでは、保育士が1対1で抱っこして授乳を行い、離乳食はひとり一人の子どものペースに合わせて援助します。 <li data-bbox="668 454 1414 607">・3歳児クラスの年度後半から、自分のご飯の盛り付けをします。保育士は「そんなに食べられる？」などのアドバイスをしながら見守ります。お当番が前に立ち、みんなで「いただきます」をした後、子ども達は楽しく会話しながら食事をします。保育士は一緒に食べながら、箸の持ち方など食事のマナーを伝えています。 <li data-bbox="668 640 1414 757">・食への関心を育てるため、年間食育指導計画を立て、各クラスの指導計画にも「食育」の項目を設け、年齢に応じて健康や栄養の知識や食事マナーを身につけています。また、芋ほりで掘ったサツマイモを、調理して食べるなどの「クッキング」の時間を設けています。 <li data-bbox="668 790 1414 907">・旬の野菜を多く使用し、給食を提供しています。星形に切ったオクラやニンジンをあしらひ、天の川に見立てた七夕のメニューや、クリスマスのおやつ「いちごのサンタ」など、見た目にも楽しみのある献立になるように工夫しています。 <li data-bbox="668 940 1414 1057">・給食意見交換会での、「皿の数が多いと、かえって子ども達の食が進まないようだ」との担任保育士からの意見で、3歳児でランチプレート使用を導入するなど、保育士と調理担当者が意見を出し合い、改善を図っています。初めての食材や、食材の切り方なども細かく話し合われています。 <li data-bbox="668 1090 1414 1243">・幼児食・離乳食の献立表を配布し、レシピなどの情報を給食だよりで紹介しています。毎日給食のサンプルを展示し、年度始めには、離乳食の写真を掲示して保護者に盛り付けや量などの情報を提供しています。年1回、保護者への給食試食会を開き、盛りつけや味付けなどを紹介しています。 <li data-bbox="668 1276 1414 1491">・乳児クラスでは午睡の時間が個々に違うため、保育室内をブロック状の大きなクッションで区切り、眠っていない子どもは保育士と遊んで過ごします。SID対策のため、0歳児は5分おきに、1歳児は10分おきに観察を行い、「午睡チェック表」に記録します。幼児クラスは、ホールで合同で午睡をとりますが、眠れない子どもは本を読んだり空いている保育室で過ごすなど、柔軟な対応をしています。5歳児は11月から午睡時間を徐々に減らし、「体を休める時間」とし、2月からは午睡の時間を設けません。 <li data-bbox="668 1525 1414 1641">・乳児クラスでは保育士がひとり一人の排泄のリズムを把握し、援助を行います。トイレで排泄ができたときには、褒めて自信に繋げています。園での排泄状況については連絡帳に詳しく記載し、保護者と連携を取りながらひとり一人の排泄の自立を促しています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- 健康に関するマニュアルに基づき、看護師の朝と午後の巡回、視診による健康状態把握などの、健康管理が行われています。感染症に関しても、「安全マニュアル・衛生管理について」にまとめられています。
- 個々の子どもの既往症や、かかりやすい病気、かかりつけ医などについて、また緊急連絡先やアレルギー等の情報についての記録を児童票にファイルしています。
- 歯磨きは子どもが自発的に取り組むよう、保育士が声かけを行っています。歯ブラシは、幼児クラスでは殺菌庫で保管し、保育士は発達に応じた声かけや援助を行い、全クラスで保育士による仕上げ磨きを行います。
- 健康診断や身体測定の結果は連絡帳に記録し、保護者に伝えています。歯科健診の結果はその日のうちに結果通知書で保護者に知らせています。健康診断の前には、保護者から子どもの健康についての心配事を聞き、嘱託医からの回答を伝えるなど、保護者と連携を取っています。健康診断や身体測定などの記録は個別に児童票に記録され、保管されています。嘱託医から得た保健情報を必要に応じて園だよりに掲載し、保護者に知らせています。
- 園での子どもの健康状態については必要に応じて、連絡メモや口頭で送迎時に保護者に伝えています。入園時の説明会で「主な学校感染症一覧表」を配付し、それぞれの感染症の登園基準等について保護者に伝えています。保育中、発症が疑われる子どもについては、保護者に連絡を取るとともに、看護師が観察を行いながら事務室のベッドで迎えを待ちます。
- 園での感染症発症の際には、個人情報に配慮の上で、玄関のボードや各クラスのお知らせボードで保護者に注意を喚起します。感染症に関しての区からの速報FAXは、職員に昼礼(職員ミーティング)などで説明し、コピーを配布し、全職員が情報を共有します。
- 健康管理・衛生管理のマニュアルの定期的見直しや研修など、全職員によるマニュアル内容共有の仕組みがあるとさらによいでしょう。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理に関するマニュアルが整備され、保育室の環境・定期的な清掃・消毒の方法等が明記されています。マニュアルは看護師を中心に、感染症流行時などに、処理手順や消毒剤を変更する等の見直しが行われています。 ・消毒については消毒液の作り方・玩具の消毒方法・嘔吐物の処理方法などが細かく規定され、各保育室に「衛生的手洗い手順」「嘔吐物排泄物処理方法」を掲示しています。 ・掃除に関しても時間・方法などが規定されています。ホール、廊下、トイレ等には清掃記録表があり掃除漏れがないようにし清潔な状態が保たれています。 ・感染症流行時などの看護師による衛生管理マニュアルの見直しは行われていますが、定期的な職員参加による見直しや研修が行われていません。定期的に見直しや研修など、全職員によるマニュアル内容共有の仕組み作りが望まれます。 ・「手洗い場」など保育室内についても、清掃チェックリストなどの使用で清掃の確認がされるとさらによいでしょう。
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全管理マニュアル」が整備され、地震・火災・迷子・不審者対応等の項目に分かれ、それぞれ対応方法が明記されています。緊急連絡体制は、フローチャートにまとめられています。東日本大震災発生後には、地震対応の見直しを実施し、「震災発生時からの時間別対応表」作成など、さらに使いやすいものにし、職員に周知されています。 ・事務室内には、事故や怪我発生時の医療機関の一覧表や、関係機関の連絡先が掲示されています。非常持ち出し用リュックが常備され、災害避難時には保護者の緊急連絡先などがまとめて持ち出せるように準備されています。年間の避難訓練計画にしたがって 毎月設定や発生時間を変えた防災訓練・避難訓練を行い、緊急時に備えています。 ・保育室の家具は固定され、備品にも転倒防止策が講じられています。 ・出入り口は、モニター付きインターホンや、自動ロック、園庭や園内は防犯カメラを設置し、侵入防止策が講じられています。 ・保育中の怪我については、できるだけ担当が状況を直接保護者に伝え、必要に応じて看護師が伝えます。担当が直接伝えられない際には、引き継ぎノートに記載し引き継ぎを受けた職員が伝えることもあります。 ・事故原因や再発防止について職員会議で検討し、事故要因の分析、改善策、改善策の実施状況を記録しています。事故報告書は定期的に集計しています。小さな事故、ヒヤリハットについての「事故報告簿」も作成しています。 ・安全管理マニュアルの、定期的な見直しや研修など、全職員によるマニュアル共有の仕組みがあるとさらによいでしょう。

II-3 人権の尊重





- ・子どもに対する、職員の言葉遣い、対応は穏やかです。職員は、ゆっくりと説明することや、子どもの思いを受け止め、共感することを意識しており、各指導計画でも繰り返し「配慮点」としてしています。内部研修でも、子どもの気持ちを尊重することを確認しあい、全職員の共通認識としてしています。職員に子どもに対する気になる対応が見られた際には、職員間で、また主任による注意やアドバイスが行われます。
- ・廊下やホールを、職員と子どもが一对一で話し合う場所として利用しています。おねしょの際には、職員は子どもの自尊心に配慮し、他の子どもたちの目につかないよう、布団や着替えなどの始末をします。
- ・守秘義務については、就業規則にも明記され、園長は会議の際などに、職員への周知を図っています。
- ・遊びや、持ち物、服装などに性別による区別はしていません。食事などのグループは男女混合、順番も性別にはなっていません。一人親家庭もあるため、職員は父母の役割についての固定的観念での表現はしません。職員からの提案で、園では「父の日」「母の日」を話題にせず、「勤労感謝の日」を保護者への感謝の日としています。
- ・無意識の、性差による固定観念がないかを見直す、仕組みづくりが望まれます。
- ・子どもの安全に配慮し、保育室内に死角を作らないようにしていますが、保育士からは目が届き、子どもにとっては他者の視線を意識しない場所を設ける工夫が望まれます。
- ・「個人情報保護方針」が法人ホームページ上に掲載されていますが、職員への周知が望まれます。
- ・園のホームページ上への子どもの写真掲載の際には保護者の了解を得ましたが、廊下や保育室での子どもの写真掲示や、園だよりへの子どもの氏名や生年月日の掲載など、個人情報の利用についての保護者への説明や、了解を得ることが望まれます。
- ・ボランティアや実習生には、守秘義務について事前に口頭で伝えていますが、書面で知らせるとさらに良いでしょう。


評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は入園時の説明会や保護者会で、保育の基本方針を説明しています。 ・送迎時の保護者とのコミュニケーションを大切にし、また連絡帳でも連絡を取り合います。年2回の定期的な個人面談を行い、保護者からの要望で、また必要に応じて、保育士から声をかけての面談を行うこともあります。いつでも気軽に相談してもらえるよう、日頃から保護者とのコミュニケーションを心がけています。 ・プライバシーに配慮して、空いている保育室を利用して保護者からの相談を受けています。相談を受けた保育士は、看護師などから専門的なアドバイスを受けることもあり、また内容によっては主任や園長が対応することもあります。 ・毎日、各保育室前に、当日の保育のねらいや主活動の内容について掲示し、保護者に知らせています。また、「園だより・クラスだより」に当月のねらいや主活動の予定を掲載しています。毎月「園だより・クラスだより」「給食だより」を、また、随時「保健だより」を発行し、園の保育に関する情報を伝えています。 ・保護者が計画を立てやすいよう、年度始めの懇談会で行事予定表を配布し、日程や内容を知らせています。保育参観は、数日間の期間を設け、参加しやすくしています。保育参観や保育参加は保護者の希望があれば随時行います。年1回、保護者懇談会を行っています。出席できなかった保護者には、送迎時に懇談会資料を配布し、説明しています。 ・要請があれば、保護者の活動に職員が参加する用意はありますが、現在まで在園児保護者からの要請はありません。卒園児の保護者からの要請で、職員が卒園児の遠足に参加しています。 ・保護者の保育方針への理解度を把握する取り組みが期待されます。

評価領域Ⅲ 地域支援機能


評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急保育、非定形保育、リフレッシュ保育などの一時保育、交流保育や園庭開放など地域子育て支援事業を行っています。一時保育には、毎日10名ほどの利用者がいます。ビル内にある、クリニックからの要請を受け、クリニックに検診に来る母親のための一時保育も受け入れています。園庭開放には、本園では園庭がホールに隣接したビル3階にあることもあり、利用者はほとんどありませんが、分園での利用があります。 ・在園児保護者だけでなく、地域の人たちにも呼び掛けて、育児講座を実施しています。平成21年度に実施した親子体操には3組の地域の親子の参加がありました。 ・育児講座開催時には、感想や要望を聴くアンケートを行っています。今年度の実施状況の分析をし、親子で参加できる講座内容への参加が比較的多いことを把握し、次回の講座内容の参考としています。 ・地域の保育園6園で構成する交流会、「PAUNTS」に参加し、地域の子育て支援ニーズの把握を図っています。また、旭区子育て支援連絡会に参加して支援ニーズなどの情報を収集しています。 ・地域の子育てニーズについて定期的に話し合い、職員間で情報を共有することが望まれます。 ・育児相談事業を行っていますが、利用者がありません。事業実施を地域に積極的に知らせ、相談事業を通じて、地域の子育て支援ニーズを把握することが期待されます。
<p>Ⅲ-2 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、育児相談を受けていますが、相談は、昨年度1件、今年度は、今のところありません。 ・子育て支援関係機関との連携を担当する主任は、配慮を要する園児の受け入れ等についても担当し、旭区保健福祉センターや横浜市西部地域療育センター、横浜市西部児童相談所など、関係機関と日常的に連携しています。 ・園の専門性を活かし、地域への育児情報の提供が望まれます。 ・定期的な育児相談日を設けることが望まれます。また相談内容に応じた関係機関・団体についてのリストを作成するなど、職員による育児相談関連の情報共有が望まれます。 ・園で行っている子育て支援活動を積極的に地域に知らせる取り組みが望まれます。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児は近隣の小学校を訪問し、交流しています。また、中学生の体験実習や小学校の教師の研修受け入れ、中学校の学習での保育士の仕事についての取材を受けるなどの交流があります。園の運動会は、小学校の施設を借りて行っています。 ・地域の6つの保育園で構成している「PAUNTS」は、散歩の際に公園で出会うことから交流が始まりました。子ども同士のつながりを図り、また互いの保育の質向上を目指して、年5回それぞれの園を訪問して、遠足ごっこやドッチボール、リズム遊び、泥んこ遊びなどを一緒に楽しんでいます。交流を通じて、同じ小学校に就学する子どもたち同士が、顔見知りになりました。 ・散歩の際には商店街の店員やショッピングセンターの警備員などからの声かけがあり、挨拶を交わすなど子どもたちとの交流が生まれています。また、横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザを訪問しての高齢者との交流も行っています。 ・園としての町内会・自治会への参加や地域の団体との交流、地域への施設開放や備品等の貸し出し、園の行事への近隣住民招待など、積極的な近隣との関係作りが望まれます。 ・地域の文化施設などの社会資源の活用、また地域の行事などの案内や子ども達の参加など、子ども達の地域とのかかわりを図る取り組みが望まれます。
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレットは区役所窓口や、鶴ヶ峰地域ケアプラザで毎月開かれる、未就園児親子などの交流の場、「かるがもサロン」で配布しています。パンフレットでは、サービス内容の詳細、料金、職員体制など、園についての必要情報を提供しています。見学者には、園の基本方針や利用条件・サービス内容などについて、パンフレットに基づいて説明しています。電話での問い合わせには、見学が出来ることを案内し、希望する日時に見学できるように配慮しています。 ・園のホームページでは、写真をまじえて保育の様子などの情報を伝えています。 ・旭区内の保育園29園連携事業、子育て支援イベント「ほいくえん広場」に参加して、園の保育を紹介しました。 ・外部の情報提供媒体への情報提供が望まれます。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや実習生受け入れ手順を記した、「ボランティア受け入れマニュアル」「実習生受け入れマニュアル」があり、中学生の体験ボランティアや保育士養成校からの実習生を受け入れています。 ・主任を、ボランティアの受け入れ・育成、また実習生の受け入れ担当とし、受け入れ時の記録を残しています。 ・ボランティア終了後、感想の提出を受け、ファイルしています。 保育士の仕事について理解を深めたことが確認でき、職員の励みになっています。子ども達の午睡時間中、実習生が、クラス担任と意見交換をする時間を設けています。また、実習終了時には、実習生と職員が反省会を行います。 ・実習目的に応じた実習プログラム作成が望まれます。 ・「ボランティア受け入れマニュアル」、「実習生受け入れマニュアル」には、受け入れについての園の方針、利用者への配慮点など、ボランティアや実習生への説明事項を明確にすることが望まれます。 ・保護者や職員への、ボランティアや実習生受け入れについての園の方針や考え方の説明が望まれます。

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・正規職員及びパート職員については法人本部で採用し、派遣職員については、園長が園に必要な人材であることを見極めて採用しています。パート職員にも、保育士有資格者を採用しています。事業見通しに基づいて必要な人材補充を行っています。 ・園内研修、外部研修、グループ研修などについて、職員の希望などを踏まえて事務局案を策定しています。 ・毎年内部研修を実施し、本年度は園の状況を踏まえ、「保育士質向上」「組織を学ぶ」などをテーマにしました。職員が希望する外部研修については、できる限り出席できるように調整しています。各種研修案内をファイルして事務所に置き、職員に案内し、土日の研修には研修費を出すなど、積極的に参加を促しています。 ・必ず、正規職員と非常勤職員を組み合わせ、業務にあたっています。希望するパート職員は、内部研修への参加や外部研修の受講ができます。主任が非常勤職員の指導を行い、パート会議を毎月開催して情報共有と意見交換を行っています。パート職員や派遣職員もクラス会議に参加して、職員間の相互理解を深めています。 ・園の理念や方針を踏まえた保育のため、人材育成計画策定が望まれます。また、研修計画は人材育成計画を踏まえて策定されるとさらによいと思われれます。 ・資質向上のため、個々の職員の目標設定とその達成度の評価を行うことが期待されます。 ・研修成果の評価や内容の見直しの仕組みづくりが期待されます。 ・非常勤職員にもマニュアルを配布するなど、全職員によるマニュアルの共有が求められます。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 毎年、職員は幹部職員と面接して個々の職員の振り返りをしています。 • 職員会議や乳児会議、幼児会議での、各クラスの保育についての報告や検討による、サービスの向上が図られています。職員会議で報告された幼児クラスでの異年齢保育の成果を踏まえ、乳児クラスでも異年齢保育を始めることとし、乳児会議での検討で年齢に応じた段階を踏んだ導入を行い、サービスの向上に繋がりました。また、課題を持つ子どもの担任への、他の職員の経験からのアドバイスが、改善に繋がったなどの成果があります。 • 内部研修に専門家を招き、運動会のための実技指導など、実践的な研修を行っています。また、子ども達への外部講師による音楽指導や体育指導などの指導後に、職員が講師から子どもへの指導方法について学ぶ場を設けています。近隣の6保育園の交流会「PAUNTS」では、持ち回りで、合同保育を企画・実施し、保育技術やイベントの運営などについて互いに学びあい、職員の資質向上や園の保育の質向上に繋がっています。 • 各指導計画書には、自己評価の欄が設けられ、保育士による自己の実践の振り返りが行われています。看護師は看護日誌による振り返りを行っています。主任は、旭区の主任会で学んだ各種書類の書き方の注意点を参考に、ねらいと関連した、また子どもの意欲や取り組む過程を重視しての自己実践の振り返りや、振り返りの次期計画への反映を指導し、各クラスの指導計画を確認しています。 • 理念や方針、保育課程に沿っての園としての自己評価を行い、公表することが望まれます。
<p>V-3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 園長を施設運営担当の総括責任者とする「業務分担表」や、行事・係りの分担表が策定され、各職員の責任が明確にされています。絵本やイベントの際の予算の一部についてはクラス判断で使えるようにしています。保育については子どもの状況を一番理解する担任が考え、判断することが良いとの基本的な考え方で運営しています。 • 職員と園長、事務局長との個別面談で、職員の満足度や要望などの把握を行っています。パート職員については毎月パート会議を開催して園からの報告をするとともに要望を聞いています。 • 職員の、経験や役割に応じた期待水準の明文化が望まれます。 • 会議や、日常のやり取りの中で職員から寄せられる業務改善提案には、速やかな対応が行われていますが、職員会議への出席のない派遣職員など、直接の提案機会が少ない職員にも配慮し、業務改善提案の募集やアンケートなどを行うことが望まれます。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則にサービスについての条文を設け、サービスの心得、信用保持、サービス規律を規定しています。 ・法人のホームページを通じて事業報告や会計情報を公表しています。 ・園長は、事業者から福祉関連記事の切り抜きの送信を受け、またマスコミ報道に目を配り、他施設での不正や不適切な事案をもとに、職員会議や昼礼で職員に注意を喚起しています。 ・子ども達と共に、クラスごとに、ゴミの分別廃棄に取り組んでいます。省エネルギーに配慮して、園内の電球を減らし30%の消費電力削減の効果が得られました。 ・園としての環境への考え方、取り組みを明文化することが望まれます。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の基本理念、園の保育目標は、玄関フロアに掲示して、保護者や職員への周知を図っています。また、ホームページでも公表しています。 ・園の重要な意思決定についての保護者への説明が行われています。また毎月の職員会議やパート職員会議を通じて、職員にも説明しています。新法人設立にあたっては、事前に保護者への説明文書の配布を行い、保護者会で報告しました。 ・必要に応じて、職員内で検討チームを編成して問題に取り組んでいます。中断していた「お泊り保育」再開の際には、園長、主任、看護師などでプロジェクトチームを作り検討しました。現在、検討チームによる、業務についての情報共有や共通認識形成のためのハンドブック作成を進めています。 ・主任クラスの職員育成のため、担任中に乳児リーダー、幼児リーダーを置き、主任と連携して乳児クラス、幼児クラスの各職員の状況把握や助言を行っています。 ・主任は、クラス会議や乳児会議、幼児会議に参加し、各指導計画策定や、業務についてのアドバイスをを行い、また折に触れてクラス応援に入り、業務状況の把握や個々の職員への配慮を行っています。 ・基本理念や基本方針についての職員の周知、理解を深める取り組み、また、職員の理念、方針の理解を確認する機会を定期的に設けることが期待されます。 ・園としての重要な意思決定の際には、保護者との継続的な意見交換が望まれます。

VI-3 効率的な運営



- 園長は、園長会参加などで得た、また行政から送信された園の運営にかかわる情報を分析しています。また、事業者から送信される新聞各紙の福祉関連記事の切り抜きからも情報を得、さらに詳しい情報をインターネットで収集、分析しています。法人の施設長会議や、本部事務局長・園長・主任による会議でも、情報収集や分析、意見交換を行っています。
- 保護者懇談会や行事終了後、保護者へのアンケートを実施し、その結果を分析してニーズの把握をしています。また、重要事項については職員会議や毎日の昼礼で職員に周知し、意見を求めています。
- 経営コンサルティング会社から、園運営についてのアドバイスを受け、また今年度は同社の講師による、「保育士質向上」や「組織を学ぶ」をテーマとする内部研修を設定し、運営やサービスについての職員の共通認識形成を図っています。また、現在、園の新しい保育目標や保育課程作成、マニュアル類の改訂作業を進めており、運営体制の全面的な見直しを行っています。
- 中長期計画の策定が望まれます。
- 主任研修受講や、OJTによる将来の園運営を担う人材の育成が行われています。人材育成計画を策定し、さらに計画的な人材育成が行われるとよいでしょう。

利用者家族アンケート

結果の特徴

保護者アンケート実施 平成23年9月12日～9月26日

配布数173通 回収数85通 回収率49.1%

<特徴>

保育園の総合的評価、総合満足度は「満足」「どちらかといえば満足」を合わせて94.1%です。

問1の基本理念や基本方針の認知度は「よく知っている」「まあ知っている」を合わせて65.8%とやや低いです。また、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の93.1%が、理念や方針に「賛同できる」「まあ賛同できる」と回答しています。

サービス内容についての項目では、質問37項目のうち28項目で、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせて80%以上となっています。また、そのうち15項目は同90%以上の満足度です。

特に高い満足度が示されたのは、問7の「職員の対応」で、「あなたのおさんが保育園生活を楽しんでいるか」については、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせて97.6%など、5項目中4項目で同90%以上となっています。

また、問6「生活について」も全7項目のうち5項目で「満足」「どちらかといえば満足」を合わせて90%を超え、「おさんが給食を楽しんでいるか」は同97.6%、「おさんの体調への気配りについては」は同94.2%と、高い評価を得ています。

「先生方を信頼し、安心しています」「先生方が、とても一生懸命子どもに接してくださって、安心して通わせています」「(アレルギー対応食について)とても細かく除去、そしてそれについてのお知らせをしてくださり、本当にありがたい」などの感謝の声が聞かれます。

一方で、問4「日常の保育内容について」中の、「子どもが戸外遊びを十分にしているか」「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動」の2項目は比較的満足度が低く、それぞれ「満足」「どちらかといえば満足」をあわせて、68.2%、72.9%でした。保護者からは、「ビル内の保育所のため園庭で遊ぶ機会が少ないのは仕方ないが、その分、散歩の時間を増やしてほしい」「幼児クラスでは、特に外遊びの時間が少ないことが気になります」など、戸外遊びをさらに望む声が複数見られます。

問6「園と保護者との連携・交流」中の、「送り迎えの際、子どもの様子についての情報交換について」の同70.6%については、「送迎時に担任の先生から話を聞きたい」「先生によって、必ず話してくださる方もいるので、もう少し他の先生にもお願いしたい」の声が聞かれます。

また、「先生によって、子どもの気持ちを汲み取ろうとする態度などに差がある気がする。レベルをそろえる仕組みづくりを」「入園前に必要な物の説明があったが、途中で買い換えてほしいといわれたものがいくつかあった」など、職員間の意識や情報の共有を望む声が散見されました。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	8.2%	57.6%	12.9%	17.6%	3.5%	0.0%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への共感	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	58.6%	34.5%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
a 見学の受け入れについては	50.6%	27.1%	4.7%	0.0%	15.3%	2.4%
	その他: 上の子がすでに通っていたので特に見学していない。					
b 入園前の見学や説明など、園からの 情報提供については	31.8%	48.2%	8.2%	4.7%	5.9%	1.2%
	その他:					
c 園の目標や方針についての説明には	24.7%	52.9%	9.4%	2.4%	9.4%	1.2%
	その他:					
d 入園時の面接などで、お子さんの様 子や生育歴などを聞く対応につい ては	43.5%	36.5%	9.4%	0.0%	8.2%	2.4%
	その他:					
e 保育園での1日の過ごし方につい ての説明には	37.6%	42.4%	15.3%	1.2%	2.4%	1.2%
	その他:					
f 費用やきまりに関する説明につい ては (入園後に食い違いがなかったかを 含めて)	36.5%	41.2%	15.3%	3.5%	2.4%	1.2%
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
a 年間の保育や行事についての説明に は	36.5%	52.9%	7.1%	3.5%	0.0%	0.0%
	その他:					
b 年間の保育や行事に、保護者の要望 が活かされているかについては	38.8%	43.5%	8.2%	3.5%	5.9%	0.0%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
a クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	45.9%	42.4%	9.4%	1.2%	1.2%	0.0%
	その他:					
b 子どもが戸外遊びを十分しているか については	29.4%	38.8%	18.8%	9.4%	3.5%	0.0%
	その他:					
c 園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	44.7%	45.9%	8.2%	0.0%	1.2%	0.0%
	その他:					
d 自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	29.4%	43.5%	17.6%	7.1%	2.4%	0.0%
	その他:					

e	遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	40.0%	51.8%	4.7%	1.2%	2.4%	0.0%
	その他:						
f	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	34.1%	43.5%	12.9%	1.2%	5.9%	0.0%
	その他:						

生活について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
g	給食の献立内容については	68.2%	25.9%	3.5%	1.2%	0.0%	1.2%
	その他:						
h	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	58.8%	38.8%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:						
i	基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	52.9%	37.6%	1.2%	1.2%	7.1%	0.0%
	その他:						
j	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	48.2%	43.5%	3.5%	2.4%	2.4%	0.0%
	その他:						
k	おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	47.1%	29.4%	4.7%	2.4%	15.3%	1.2%
	その他:						
l	お子さんの体調への気配りについては	51.8%	42.4%	3.5%	0.0%	2.4%	0.0%
	その他:						
m	保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	37.6%	45.9%	12.9%	2.4%	1.2%	0.0%
	その他:						

問5 保育園の快適さや安全対策について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
a	施設設備については	52.9%	34.1%	9.4%	2.4%	1.2%	0.0%
	その他:お庭やプール設備がないことについては残念						
b	お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	56.5%	35.3%	7.1%	0.0%	1.2%	0.0%
	その他:						
c	外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	51.8%	35.3%	8.2%	2.4%	2.4%	0.0%
	その他:						
d	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	52.9%	27.1%	14.1%	4.7%	1.2%	0.0%
	その他:						

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
a	36.5%	48.2%	11.8%	3.5%	0.0%	0.0%
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については						
	その他:					
b	48.2%	43.5%	5.9%	2.4%	0.0%	0.0%
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については						
	その他:					
c	50.6%	40.0%	7.1%	1.2%	1.2%	0.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については						
	その他:					
d	30.6%	40.0%	18.8%	8.2%	2.4%	0.0%
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については						
	その他:					
e	35.3%	51.8%	10.6%	1.2%	1.2%	0.0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については						
	その他:					
f	34.1%	57.6%	4.7%	3.5%	0.0%	0.0%
保護者からの相談事への対応には						
	その他:					
g	42.4%	42.4%	7.1%	2.4%	5.9%	0.0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については						
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
a	56.5%	36.5%	2.4%	0.0%	2.4%	2.4%
あなたのお子さんが大切にされているかについては						
	その他:					
b	60.0%	37.6%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては						
	その他:					
c	44.1%	47.1%	2.9%	0.0%	0.0%	5.9%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については						
	その他:					
d	51.8%	41.2%	2.4%	3.5%	1.2%	0.0%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては						
	その他:					
e	36.5%	45.9%	10.6%	3.5%	2.4%	1.2%
意見や要望への対応については						
	その他:					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
a	56.5%	37.6%	4.7%	1.2%	0.0%	0.0%

利用者本人調査

結果の特徴

【調査方法】

実施日：平成23年 12月 12日

保育観察：調査員が各クラスに分かれ、園児全員を対象に「遊び」「食事」「一齐保育」「環境」などの保育観察を行いました。
本人聞き取り調査：予め保育園に依頼した、4歳児クラス、5歳児クラス各3名、合計6名にヒアリングを行いました。

保育観察(0歳児～3歳児)

乳児の様子

近くの公園に遊びに行きます。道すがら電車を眺めたり、行き会う人と挨拶をしたり、川で鯉を見たりしています。公園では砂遊びや滑り台で思い思いに遊んでいます。保育士は一人ひとりの興味・関心に合わせて援助しています。

保育室では絵本、ブロック・粘土遊びなど、それぞれに遊びに熱中しています。

食事・午睡では、個別対応をして、一人ひとりのペースを大切にしています。1歳児では、全員がスプーンとフォークで上手に食べています。0歳児ではスプーンとフォークも使いますが、手でも食べている子どももいます。保育士が穏やかに声をかけながら援助し見守ります。

2歳児の様子

散歩から帰った2歳児クラスの子ども達は、洗面台に並び、手洗いうがいをします。保育士が手伝ったり声をかけたりしています。終わったら、保育士の声かけでトイレに向います。自分でズボンを下ろしてトイレへ行く子どもや、保育士に手伝ってもらう子ども、様々です。「～ちゃんは、しちゃったの。自分で替えられる?」「うん」と自分で新しい紙パンツを取り出して替えました。

3歳児の様子

サンタクロースの製作です。保育士は、見守り、ひとり一人に声をかけたり、手を添えたりしています。黒い画用紙に、赤の三角と白の丸を貼って、サンタクロースの顔が出来上がります。「クレヨンで、サンタさんのお顔を描いてあげようね。お髭もあかな。モクモクの雲みたいなお髭かな。なんでも好きなように描いてみようね」と保育士が声を掛け、子ども達は思い思いにサンタさんの顔や雪、クリスマスツリーの飾りを描きます。「先生、見て」とあちこちから声が上がります。保育士は「サンタさん、笑っているね」「かわいいね」と子ども達の声に応えています。

質問項目別の特徴

<遊び・散歩について>

人気の遊びは「ままごと」、「追いかっこ」、「ブロック遊び」「ドッジボール」「爆弾ゲーム」など。楽しいことがたくさんある、と答えています。「保育園は楽しい」と全員が答えています。

散歩についてはほとんどの子どもが「あんまり行かない」「時々しか行かない」と答えています。

<食事について>

よくおかわりをするそうです。「全部好き、特にかから揚げ」「スープがおいしい」「残さない」と言う子どもが何人もいました。残したいときに先生は、「もう少し頑張れる?」と言うけれど減らしてくれる」と話していました。

<人権について>

友だちに嫌なことをされ、やめてと言ってもやめてくれないときは先生に言います。全員が「先生は話をよく聞いてくれる」と答えています。先生は「怒ってくれる」とか「自分でもう一度やめてと言ってごらん」と言うこともあります。

<職員について>

「園長先生とは忙しいから遊ばない」「園長先生とは遊ばないけど、この間遠足と一緒にいった」、「他のクラスの先生とは話をする」とのことでした。

事業者からの意見

改善すべき点が、3つの項目で評価をされました。
日頃から努力が必要な点でもあったと考えていた内容でもあるので、今後の保育をしていく中で、これらの評価を真摯に受け止め、改善する努力をしていきたいと考えています。一定の水準にあるという項目も、より高い水準にもっていけるよう、保育マニュアルや保育内容を常に検証し、より良い方向へと持っていけるようにしていきたいと考えます。良い評価をしていただきありがとうございました。

あつぷる保育園鶴ヶ峰